

国立能楽堂

五月



平成27年

《特集・寺社と能》

【企画公演】5月21日(木)午後6時開演

◎多武峰・談山能

おはなし

とうのみねしきおきな

多武峰式翁

狂言 棒縛

松岡 心平 (東京大学 教授)

観世 清和

茂山七五三 (大蔵流)

能 恋重荷

梅若 玄祥 (観世流)

【企画公演】5月30日(土)午後1時開演

◎高野山—高野山開創二一〇〇年記念—

おはなし

井川 崇高 (真言 聲明の会)

高野山の声明

真言聲明の会

能 高野物狂

金剛 永謹 (金剛流)

【普及公演】5月9日(土)午後1時開演

解説能楽あんない

牡丹の花

高橋 昌明 (神戸大学 名誉教授)

狂言 真奪

網谷 正美 (大蔵流)

能 千手

渡邊荀之助 (宝生流)

【定例公演】5月15日(金)午後6時30分開演

狂言 仁王

野村又二郎 (和泉流)

能 杜若

武田 尚浩 (観世流)

【定例公演】5月27日(水)午後1時開演

狂言 名取川

山本 則俊 (大蔵流)

能 隅田川

友枝 昭世 (喜多流)



予約開始 = 4月9日(木)午前10時~

窓口販売開始 = 4月10日(金) (チケット売場 午前10時~午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

【電話】国立劇場チケットセンター (午前10時~午後6時) 0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

【インターネット】<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)

※一般券のみ

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン) ※詳細は左記ホームページをご覧ください。

●一般のみ取扱い=チケットぴあ 0570-02-9999 [PC・携帯] <http://pia.jp/> /e+ (イープラス) [パソコン] <http://eplus.jp/> [ケータイ] <http://eplus.jp/ntj>

入場料金

定例・普及公演 一般: 正面¥4,900・脇正面¥3,200・中正面¥2,700 / 学生: 脇正面¥2,200・中正面¥1,900

企画公演(21日) 一般: 正面¥6,700・脇正面¥5,600・中正面¥4,400 / 学生: 脇正面¥3,900・中正面¥3,100

(30日) 一般: 正面¥6,300・脇正面¥4,800・中正面¥3,200 / 学生: 脇正面¥3,400・中正面¥2,200

※全公演字幕付です(日本語・英語)。※障害者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。

企画公演《特集・寺社と能》

5月21日(木)午後6時開演

◎多武峰・談山能

おはなし 松岡心平

多武峰式翁

(東京大学教授)

坂口 貴信 上大観 山本 倉田 世喜清
谷本 健吾 大観 本哲源 大藤 六郎兵衛
坂角 幸二 山崎 正徳 真太郎 山崎 正徳

5月30日(土)午後1時開演

◎高野山 高野山開創二〇〇年記念

おはなし 井川崇高

高野山の声明

(真言声明の会)

大曼荼羅供声明より 庭讃・四智梵語(初段)
正御影供声明より 吉慶漢語(初段)・五悔(初段)・勧請
五大願・三十七遍合殺(初段)・供養讃

高野物狂

(能「金剛流」)

金剛 漆垣 工藤 小笠原 幸一 廣田 福光
田村 修 豊田 嶋幸 田村 幸洋
元吉 正巳 坂本 立津 龍剛

普及公演

5月9日(土)午後1時開演

解説・能楽あんない 牡丹の花―重衡の実像

高橋昌明 (神戸大学名誉教授)

真奪

(能「大蔵流」)

網谷正美 丸石やすし 藤本薫
シテ/太郎冠者 アド/主

千手

(能「宝生流」)

渡邊 荀之助 島村 明宏 森田 常好
藤田 次郎 後藤 嘉津幸 高橋 由訓

定例公演

5月15日(金)午後6時30分開演

狂言「和泉流」

仁王

(能「和泉流」)

野村又三郎 野口隆行 奥津健太郎
シテ/博奕打 アド/何栗

杜若

(能「観世流」)

武田尚浩 武生欣哉 住駒幸英
シテ/杜若の精 ワキ/旅僧

定例公演

5月27日(水)午後1時開演

狂言「大蔵流」

名取川

(能「大蔵流」)

山本則重 山本則重 成田寛史
シテ/旅僧 アド/何栗

隅田川

(能「喜多流」)

友枝昭世 友枝伊織 大島伊織
シテ/梅若丸の母 子方/梅若丸

恋重荷

(能「観世流」)

梅山九郎右衛門 片山九郎右衛門 福山九郎右衛門
シテ/山科狂司 ツレ/女御

坂角 幸二 坂口 貴信 坂角 幸二

坂角 幸二 坂口 貴信 坂角 幸二

坂角 幸二 坂口 貴信 坂角 幸二

坂角 幸二 坂口 貴信 坂角 幸二

坂角 幸二 坂口 貴信 坂角 幸二

坂角 幸二 坂口 貴信 坂角 幸二

《特集・寺社と能》 寺社との密接な関わりの中で形作られ、伝承されてきた能。今回は、古くは新作能楽演習の場としてにもなっている高野山に焦点をあてます。

多武峰式翁 多武峰・談山能(奈良県桜井市)に伝わる二人舞。神社の摩多羅神面を使用します。

酒好きの二人の家来。留守中に蔵の酒を飲みぬよう、主人は二人を縛って出かけます。

老いた菊守の恋の行く末

恋重荷 白河院の女御に一目惚れした菊守の老人。女御は、荷を持って庭を回れば姿を見せると伝えます。

終演予定午後8時45分

すが、その荷は重く持ち上げられず、談山神社所蔵の「悪尉」の面を用いての上演です。

高野山の声明 声明は、経典に節を付けて唱える仏教音楽。なかでも高野山の声明は二音一音はつきりと唱える力強さを特徴とします。

弘法大師・空海による開創から二〇〇年を迎える高野山の壮麗な雰囲気を感じ取っていただきます。

高野物狂 主君の子、春満から、出家するとの置き手紙を受け取った家臣・高師四郎は物狂いとなり、春満を捜し求めて高野山へ辿り着きます。

名勝三 終演予定午後3時45分

鈴の松の下、四郎は春満と再会を果たします。真奪 立花の会で使う杖を探し主人と太郎冠者。立派な杖を持つ男を見つけ取り返します。

美しき手との出会いと別れ 千手「一の谷の合戦で捕虜となり鎌倉へ送られた。平重衡。源頼朝から美しい千手の前が遣わされ、心を通わせたのも束の間、夜が明け、二人は別れの時を迎えます。

金春神竹竹の情感溢れる曲です。

仁王 大負けして財を失った博奕打は、仁王像に化けて供え物をたまし取るうと企みますが。

終演予定午後8時45分

在原業平の和歌の功徳 杜若 在原業平が「かきつばた」を詠み込んだ和歌でも知られる杜若の名所・三河国八橋。杜若の精が現れ、業平は歌舞の菩薩の化現であると語り、舞を舞います。

伊勢物語を題材とした初夏の夢幻能

名取川 物覚えの悪い僧は、自分の名前を袖に書き記しますが、川に落ち、文字が消えてしま...

隅田川 人買いにさらわれたわが子を捜して、都から遠く隅田川までやって来た物狂いの女、待ち受けていたのはあまりにも過酷な現実でした。

終演予定午後3時30分